



教育理念（あいことば）

やさしさ 勇気 喜び そして 夢

タカラッキー

<http://www.ueis.ed.jp/school/takaragi/>

宝木小学校だより 第4号
令和6年6月3日発行

（発行者 室田 和宏）

いじめゼロ強調月間

5月は、いじめゼロ強調月間でした。今回は、宝木小学校の取組をいくつか紹介します。

〇いじめ・いじわるアンケートの実施（年間4回～6回程度）

子供たちが答えやすく、私たち職員がリアルタイムで状況を把握しやすいように、本年度からChromeBookを使って、アンケートを実施しました。当初年間4回を予定していましたが、印刷したり集計したりする作業も効率化できるので、必要に応じて回数を増やすことができそうです。

〇教育相談（あのね相談）の実施

年間2回（5月・10月）を予定しています。2週間、昼休みを長くとって一人一人と話す時間を確保しています。相談に関わらない職員は校内を巡回し安全を見守るなど、全校体制で実施します。それぞれの困り感に寄り添えるよう、日常的に子供たちの声に耳を傾け、随時の個別相談も充実させてまいります。

〇スクールカウンセラーとの連携

2名のスクールカウンセラーが定期的に来校するので、希望に応じて相談することが可能です。本校では、相談以外にも、児童の様子を専門的な視点から観察していただくなど、日常的に連携を図っています。

〇児童理解の情報交換会（研修）

全職員で児童理解を進め、一人一人に合った丁寧な指導、より良い支援を行っていくための職員研修を実施しています。すべてのクラスの児童について、全職員が情報を共有する大切な機会として、5月にはたっぷりと時間をかけて行いました。学年を超え、特別支援や、教育相談、児童指導の担当、管理職等も加わって、チームで対応できるような体制を確認することも、この研修の大きな目的の一つです。

〇タカラッキータイムの活動（縦割り班活動）

縦割り班（タカラッキー班）での活動を充実させています。異学年集団での活動は、認め合ったり、折り合いを付けたりする体験が思いやりの心を育むことにつながります。学年に関係なく仲良く交流する姿が、日常的によく見られます。子供同士だから分かり合える”といった体験を積み重ねることで、上級生も下級生も成長していきます。

〇ボランティアさんとの交流（魅力ある学校づくり地域協議会）

本校には、スクールガードばかりではなく、グリーン、書道、ミシン、昔遊びなど、たくさんの地域ボランティアの皆さんが教育活動に関わってくださいます。地域の方々と触れ合う活動を通して、“かわいがってもらっている自分を”感じ、自己肯定感を高めることにつながっています。

令和6（2024）年度教科書展示会のお知らせ

6月21日（金）～7月12日（金）午前9時～午後5時、県河内庁舎B棟2階研修室において、「令和6（2024）年度教科書展示会」が行われます（土日は除く）。多くの方々に認識の機会を提供し、教科書に対する関心を高めるために実施される展示会で、学校関係者、保護者等、希望される方は誰でも見ることができます。子供たちが使用する教科書はどのようなものになるのか、お時間がございましたら、是非お出かけください。（6月17日（月）～6月20日（金）には、同所で事前展示会も開催しております）

